

## IR University

## 第9回「資本市場とIR シンポジウム」のご案内

～ ESG イニシアティブ争いの中で日本企業が今なすべきことーガバナンス概念の拡張 ～

## ご挨拶

毎年、重要なテーマに注力しながら、問題提起をしております当シンポジウムですが、本年は「ESG イニシアティブ争いの中で日本企業が今なすべきことーガバナンス概念の拡張」というテーマで、まさに ESG 戦争の勝者になるための議論を進めたいと考えております。午前は、海外企業との競争の中、いかにグローバル投資家とコンタクトするか、および取締役会評価について実務の観点で、続いて、ダイバシティ、ESG の観点から社外取締役のご経験のお話、さらに午後には、エンゲージメントに ESG を加味して各先生に登壇していただきます。そして、例年同様、大討論会で締めくくる予定です。

本シンポジウムは青山学院大学名誉教授の北川先生監修のもと開催し、今年で9回目を迎えます。昨年に引き続き、多数のESGの第一人者が一堂に会します。このような機会は他にありません。是非とも、多くの皆様にご参加いただきたく存じます。

ジェイ・ユーラス・アイアール(株) 代表取締役 岩田宜子

## 開催趣旨

以下のようなテーマのもと、企業・投資家双方の立場で議論を深めます。

- ・ MiFID II(第二次金融商品市場指令)影響下における対策
- ・ 「ESG 大国への道」「ESG 戦争の勝者になるための方策」 など

## 開催概要

日時：2019年11月19日(火)

シンポジウム：10:00 - 17:00 (9:30 受付開始)

懇親会：17:10 - 18:30

会場：青山学院大学・アイビーホール青学会館

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷4丁目4番25号

定員：50名(誠に恐縮ですが、定員に達し次第締め切らせて頂きます)

参加費用(懇親会費用を含む)：弊社顧客企業\* 一人 5,000円(税別) / その他企業 一人 8,000円(税別)  
\*)弊社と現在お取引のあるお客様を対象といたします。

※なお、ご参加いただいた皆様には、エジンバラの機関投資家 AXA Investment Manager ハーディ智砂子氏の著書、『古き佳きエジンバラから新しい日本が見える』を、当日会場にて進呈させていただきます。

## お申込み方法

お申込み：右のボタンをクリックして、お申し込みください。

**参加申し込みボタン**

折返し、詳細とご参加費用のお振込みのご案内を致します。

締め切り：2019年11月14日(木)まで

問合せ先：ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社

担当：原山・川島

E-mail：[ir\\_university@j-eurusir.com](mailto:ir_university@j-eurusir.com) TEL：03-6273-4032(代)

## スケジュール(予定)

時間	講演内容	登壇者
10:00～10:05	ご挨拶と本日の主旨	岩田 宜子 ジェイ・ユール・アイアール(株)
10:05～10:30	「MiFID II(第二次金融商品市場指令)影響下における対策」	岩田 宜子 ジェイ・ユール・アイアール(株)
10:30～11:00	「取締役会評価の新たなステージ」	高山 与志子 ジェイ・ユール・アイアール(株)
11:00～11:10	休憩	
11:10～12:00	対談: 仮題)「ESG 銘柄に選ばれて一社外取締役の立場から」	中島 好美氏 ヤマハ(株)など社外取締役
12:00～12:50	ランチ *昼食のご用意はございませんので、各自でおとりください	
12:50～13:30	「機関投資家が必要とするESG情報」	菊池 勝也氏 東京海上アセットマネジメント(株)
13:30～14:10	「ESG アナリストの時代」	小崎 亜依子氏 鎌倉サステナビリティ研究所
14:10～14:20	休憩	
14:20～15:00	「ESG 情報開示基準戦争の行方」	林 寿和氏 ニッセイアセットマネジメント(株)
15:00～15:40	「サステナビリティ・ガバナンス時代の到来」	北川 哲雄教授 青山学院大学
15:40～15:50	休憩	
15:50～17:00	大討論会 :テーマ 「日本株式の上昇のカギは。選ばれる ESG 銘柄メッセージとは」 モデレーター: 岩田宜子	上記登壇者
17:10～18:30	懇親会	

<ご参考> 過去4回のIR University 「IRと資本市場シンポジウム」のテーマ

第8回:ESG 今、何が起きているのか、IR担当者が出来ることは

第7回:建設的な「対話」の新たなスタンダードとは

第6回:ESとガバナンス、IRとの融合(コンバージェンス)に向けて

第5回:中長期運用株主を増やすコーポレート・ガバナンスとIR活動

**北川 哲雄 青山学院大学名誉教授 首都大学東京特任教授**

野村総合研究所・モルガン銀行(現 JP モルガン・アセットマネジメント)等においてリサーチャーあるいはアナリストを経験の  
のち 2005 年青山学院大学教授。2019 年 4 月より現職。

専門は『コーポレート・コミュニケーション』『コーポレート・ガバナンス』。最近の編著に『バックキャスト思考と SDGs/ESG 投資』(同文館出版:2019 年)、共著に『サステナブル経営と資本市場』(日本経済新聞出版:2019 年)がある。

**中島 好美 社外取締役 ヤマハ(株) イオンフィナンシャルサービス(株) (株)アルバック 日本貨物鉄道(株)**

安田信託銀行、米系消費財メーカー等でマーケティング・営業を経て、米系銀行・仏系証券会社でマネジメントを経験。  
2002 年より 2016 年までアメリカン・エクスプレス・インターナショナル上席副社長、シンガポールカンントリーマネジャー、アメリ  
カン・エクスプレス・ジャパン代表取締役社長。グローバル企業でのマネジメント経験を活かし 2017 年より、日本企業の社外  
取締役に就任。グローバルな視点での人材育成や企業価値を高めるための発信を提案。  
事業構想大学大学院客員教授(マーケティング、女性活躍研究)

**菊池 勝也 東京海上アセットマネジメント株式会社 責任投資部 ESG スペシャリスト**

1989 年大和証券投資信託委託入社。2013 年まで約 20 年株式運用部門に所属しファンドマネージャーを務める。主として  
成長株ファンドや SRI ファンドを担当。2013 年に調査部へ異動しアナリストとして金融・医薬品セクターなどをカバーする。調  
査部長を経てスチュワードシップ活動を担当。2019 年 1 月東京海上アセットマネジメントへ入社し、ESG 調査、エンゲージメ  
ント、議決権行使などを担当。

**小崎 亜依子 一般社団法人鎌倉サステナビリティ研究所 理事**

野村アセットマネジメント株式会社を経て、2007 年より株式会社日本総合研究所で、企業の ESG 側面の評価分析を行い、  
社会的課題解決を投融资の側面から支援。日本証券アナリスト協会、企業価値分析における ESG 要因研究会委員(2009  
~2015 年)。その後、働き方改革を現場視点で行うべく、2015 年に株式会社 Waris に参画。  
一般社団法人鎌倉サステナビリティ研究所では、ESG 実務家を対象としたネットワーキングや人材育成に取り組む。  
慶應義塾大学総合政策学部卒、ピッツバーグ大学公共政策大学院修了。

**林 寿和 ニッセイアセットマネジメント株式会社 ESG推進室/投資調査室 チーフ・アナリスト**

京都大学工学部物理工学科卒業、エジンバラ大学大学院修了(経済学修士)、ケンブリッジ大学経営大学院修了(技術政  
策修士)。文部科学省、株式会社日本総合研究所を経て、2016 年より現職。ESG に関する企業調査や、運用プロセスにお  
ける ESG インテグレーションの推進などに携わる。「GPIF 委託調査研究:ESG に関する情報開示についての調査研究」の  
執筆も担当した。環境省「環境サステナブル企業評価検討会」委員、早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター「ファ  
ンドマネジメント講座」講師も務める。

**岩田 宜子 ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 代表取締役**

米系銀行勤務後 1992 年より IR 業界でのキャリアを開始、1994 年米国 IR 会社日本代表、その後、日系初のグローバル・IR  
コンサルティング会社、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)を設立し、2001 年代表取締役に就任。東証上場会社表彰選定委員  
や経産省対内直接投資研究会委員を経験。日本 IR 学会理事。2016 年 IR とガバナンスの分野で博士号(経済)を取得。

**高山 与志子 ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マネージング・ディレクター 取締役  
ボードルーム・レビュー・ジャパン株式会社 代表取締役**

1987 年、メリルリンチ証券投資銀行部門 NY に入社。国内外での資金調達、M&A などのアドバイス。トムソン・ファイナンシ  
ャル・インベスター・リレーションズを経て、2001 年、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)。2015 年、ボードルーム・レビュー・ジャパ  
ン(株)代表取締役。現在「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」メンバー。